

はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期ごとに調査を行い、D.I.を中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、令和3年10月～12月期の業況実績と、令和4年1月～3月期の見通しについて、管内678先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てていただければ幸いです。

※D.I. (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

**** 目次 ****

1. 概況	1
2. 地区内の業況D.I.推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査	
原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について	19

(注) 令和4年1月～3月を今期、令和3年10月～12月を前期、令和4年4月～6月を来期という、以下同じ。

調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製 造 業	203	187	92.1	30.2
卸 売 業	29	27	93.1	4.4
小 売 業	200	176	88.0	28.5
サービス業	120	112	93.3	18.1
建 設 業	97	89	91.7	14.4
不 動 産 業	29	27	93.1	4.4
合 計	678	618	91.2	100.0

◆◆◆ 概 況 ◆◆◆

《 2022 年 1 月～3 月》

東日本大震災から 10 年を迎え、新型コロナウイルス感染拡大の影響で 2 年間で中止されていた追悼式が 3 月 11 日に国立劇場で営まれた。あらためて当時の映像を思い浮かべ、災害の大きさと怖さを思い出した。ここ最近であるが、石川県能登地方では地震活動が活発化しており、今年に入ってから震度 1 以上を観測した地震は 1 月が 6 回、2 月が 6 回、3 月は 22 回と急増している。詳細は不明であるが、今後も規模の大きな地震が起きる可能性があると考え、地震に対する備えを再確認する必要性を感じている。当金庫では対策の一つとして、今年 3 月に全役職員向けに「大規模災害発生時対応マニュアル」を配布した。災害等が起こった場合に確認し、被害を抑えるための対応や行動についてまとめて記載されており、手許で携帯できるものである。平成 19 年 3 月 25 日の能登半島地震から 15 年が経つが、記憶を風化させてはならない。

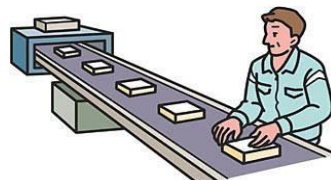
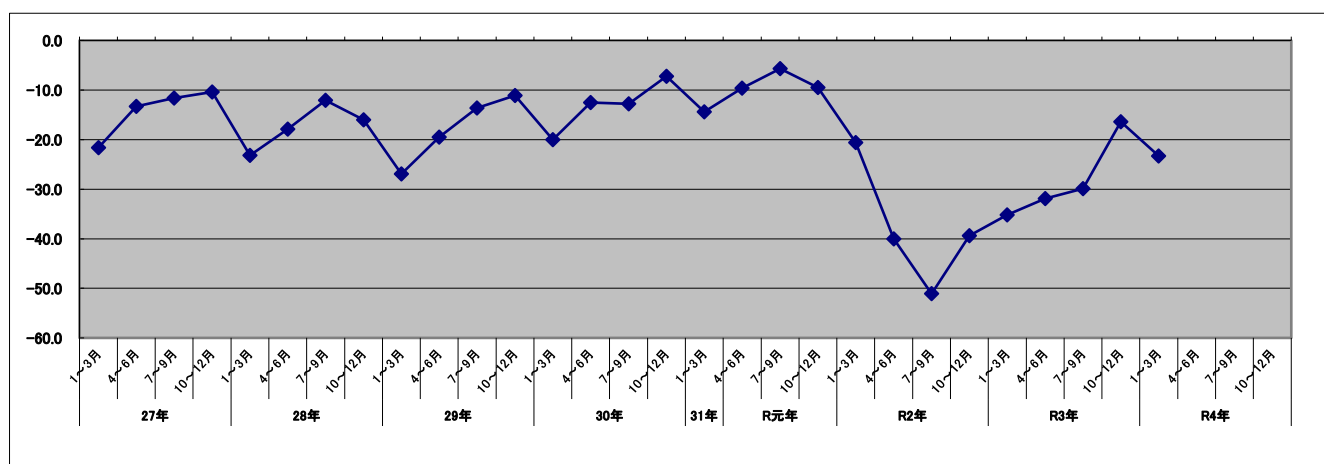
こうした中で、当金庫営業地区の今期（令和 4 年 1 月～3 月）業況 D.I. は、△23.3（前期△16.4）と 6.9 ポイント悪化し、地区内全般ではサービス業と不動産業を除き悪化を示した。地場産業では縫製業、織布業、繊維・雑品業が回復基調を維持し、観光業がまん延防止等重点措置の影響もありやや悪化。その他の業種では横這いを示した。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた 2 年前から、これまでは緩やかな回復をみせてきたわけであるが、ここにきていったん一服感がみられる。周りを見渡せば昨年から世界的な半導体の供給不足に加え、2 月のロシアによるウクライナ侵攻の影響も懸念され、今後は原材料価格の上昇や不足が予想されている。

中でも最近の原材料費・仕入価格上昇による影響が懸念され、今回の特別調査でも原材料・仕入価格の上昇による影響についてアンケート調査を行ったが、収益に「悪影響がある」と回答した企業は全体の 6 割に達し、販売価格に 100% 転嫁できていると回答した企業は全体の 2 割弱と少ない。今後ますます原材料費・仕入価格が上昇すれば、その影響が拡大し、企業の収益圧迫や販売価格上昇により消費の低迷にも繋がりがねない事となる。また必要量確保が困難となる事も想定され、とくに資源量の少ない日本や諸外国においては、非常に厳しい状況になることも予想される。

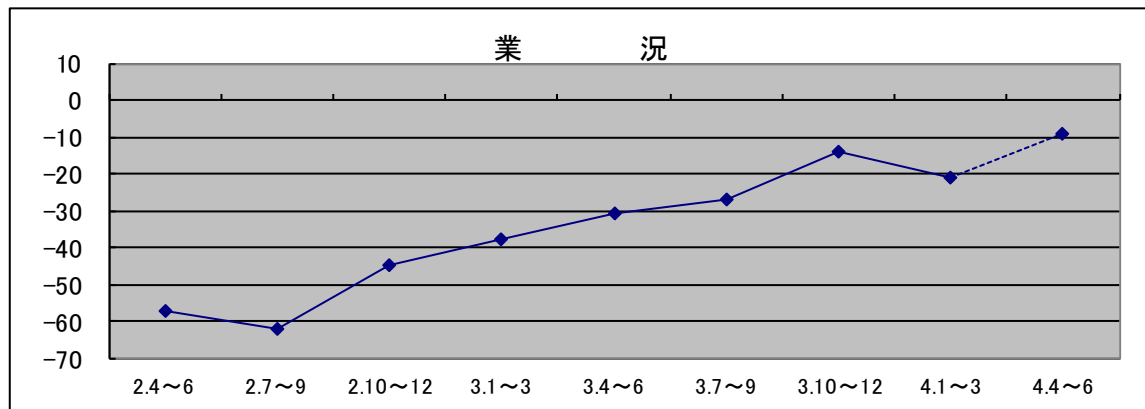
3 月 21 日には全ての都道府県でまん延防止等重点措置が解除され、当地の観光地や飲食サービス業では期待を寄せている。イベントでの収容定員や上限人数も緩和され、人流も平常時に少しずつ戻っていくと考えられる。ただ感染の第 6 波が収まったわけではなく、今後はリバウンドを警戒しつつも感染再拡大防止を念頭に置き、経済活動を再開させていく事が重要である。何事も無いのが一番良い事ではあるが、感染症も災害も、まずは備えと警戒が必要である。全てを防げるわけではないが、出来る限りの準備を怠る事が無いように致したい。

地区内の業況D. I. 推移

年	期間	業況D. I.	年	期間	業況D. I.
H27年	1～3月	△ 21.6	H31年	1～3月	△ 14.4
	4～6月	△ 13.3	R元年	4～6月	△ 9.6
	7～9月	△ 11.6		7～9月	△ 5.7
	10～12月	△ 10.4		10～12月	△ 9.5
H28年	1～3月	△ 23.2	R2年	1～3月	△ 20.6
	4～6月	△ 17.9		4～6月	△ 40.0
	7～9月	△ 12.1		7～9月	△ 51.1
	10～12月	△ 16.0		10～12月	△ 39.4
H29年	1～3月	△ 26.9	R3年	1～3月	△ 35.2
	4～6月	△ 19.5		4～6月	△ 31.9
	7～9月	△ 13.6		7～9月	△ 29.9
	10～12月	△ 11.1		10～12月	△ 16.4
H30年	1～3月	△ 20.0	R4年	1～3月	△ 23.3
	4～6月	△ 12.5		4～6月	
	7～9月	△ 12.8		7～9月	
	10～12月	△ 7.2		10～12月	



製造業



【概 況】

今期（R 4.1月～3月）の業況D.I.は前期より悪化し、△20.9（前期△13.9）となった。材料価格の高騰が影響し、売上の悪化に伴い収益も悪化している。地域や業種を問わず、業況が悪化したと回答している企業は多く、未だ景気の先行きが不透明であるとみている。引き続き設備投資を見合わせている企業は多く、全体的に動きは鈍い。

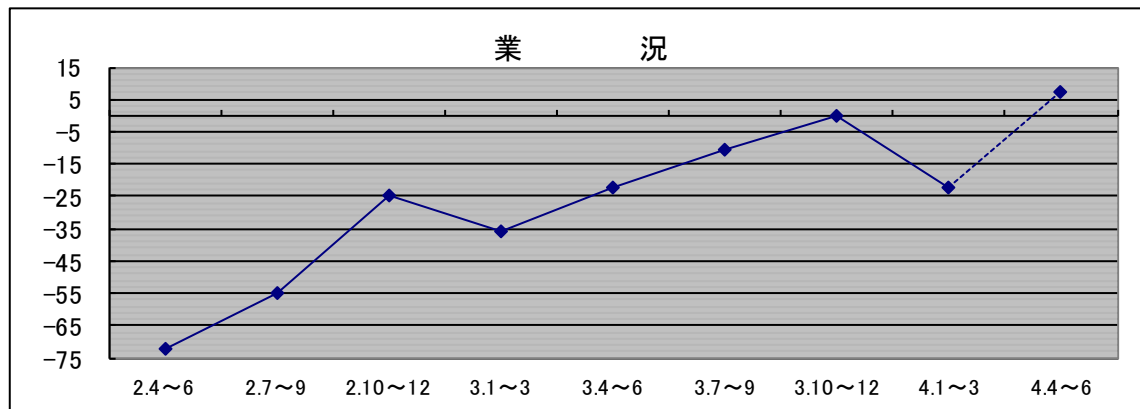
来期（R 4.4月～6月）の業況D.I.は△9.1と改善を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年			令和3年				令和4年	見通し
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業 況	△57.4	△62.1	△44.8	△37.7	△31.0	△26.8	△13.9	△20.9	△9.1
売 上	△61.6	△40.5	△18.8	△38.2	△29.4	△19.5	△3.1	△15.0	△1.6
収 益	△59.5	△38.9	△20.8	△38.7	△28.9	△13.7	△10.8	△17.6	△3.2
資金繰り	△37.4	△19.5	△14.6	△13.6	△15.5	△7.9	△10.3	△8.0	△8.6
人 手	△2.1	1.6	△2.6	△3.7	△3.2	△3.2	△2.6	△3.2	△4.3
設 備	△5.3	△4.7	△2.1	△2.6	1.1	△2.6	△3.1	△2.1	△2.7

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	20.2%	提携先を見つける	35.6%
輸入製品との競争の激化	19.0%	経費を節減する	20.9%
原材料高	14.4%	販路を広げる	17.9%

卸売業



【概 況】

今期（R 4.1月～3月）業況D.I.は年末の消費意欲の高まりの反動で冷え込み、 $\Delta 22.2$ （前期 $\Delta 0.0$ ）と悪化した。個人消費は物価の高騰などの影響で再び悪化、全体的に消費低下の傾向にあり、厳しい状況が続いているとの回答が多く見られた。

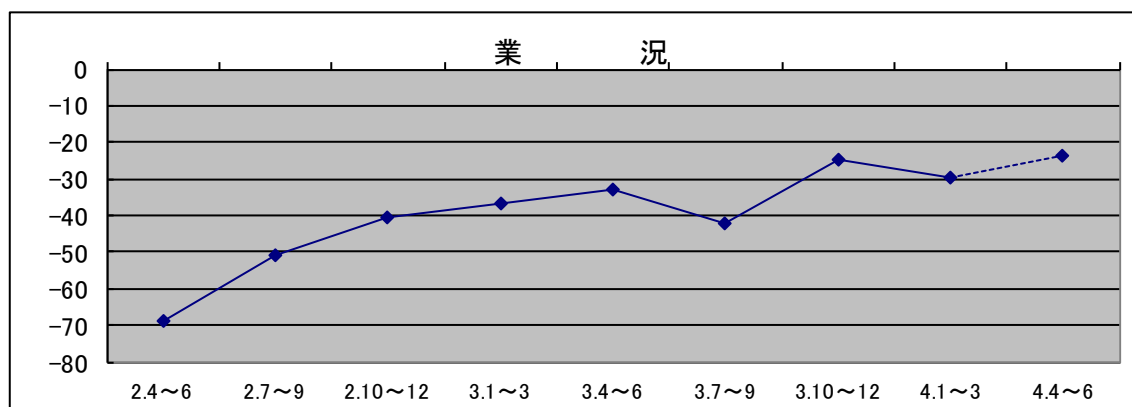
来期（R 4.4月～6月）の見通しは、春先の需要増加により業況は7.4と改善するとみており、売上・収益も改善を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年			令和3年				令和4年	見通し
	4～6月	7～9月	1～3月	4～6月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業 況	$\Delta 72.4$	$\Delta 55.2$	$\Delta 25.0$	$\Delta 35.7$	$\Delta 22.2$	$\Delta 10.7$	0.0	$\Delta 22.2$	7.4
売 上	$\Delta 65.5$	$\Delta 51.7$	$\Delta 17.9$	$\Delta 53.6$	$\Delta 25.9$	$\Delta 21.4$	$\Delta 3.6$	$\Delta 14.8$	7.4
収 益	$\Delta 65.5$	$\Delta 48.3$	$\Delta 14.3$	$\Delta 50.0$	$\Delta 18.5$	$\Delta 25.0$	$\Delta 7.1$	$\Delta 18.5$	3.7
仕入価格	0.0	$\Delta 3.4$	0.0	$\Delta 14.3$	11.1	21.4	25.0	51.9	33.3
在 庫	$\Delta 3.4$	$\Delta 6.9$	$\Delta 10.7$	$\Delta 3.6$	$\Delta 3.7$	$\Delta 14.3$	$\Delta 7.1$	$\Delta 3.7$	$\Delta 7.4$
資金繰り	$\Delta 51.7$	$\Delta 24.1$	$\Delta 21.4$	$\Delta 21.4$	$\Delta 22.2$	$\Delta 14.3$	$\Delta 3.6$	3.7	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
合理化の不足	17.5%	提携先を見つける	27.7%
売上の停滞・減少	14.3%	販路を広げる	21.5%
同業者間の競争の激化	12.7%	経費を節減する	15.4%

小売業



【概 況】

今期（R 4.1月～3月）の業況D.I.は△29.4（前期△24.5）と悪化を示した。クリスマスと年末年始の需要が落ち着いたこととコロナウイルスの再拡大によるものと考えられる。幅広い小売業種で業況の低迷がみられ、なかでも飲食店、衣料品・家電品・食料品のほか、価格の高騰により燃料が厳しかった。

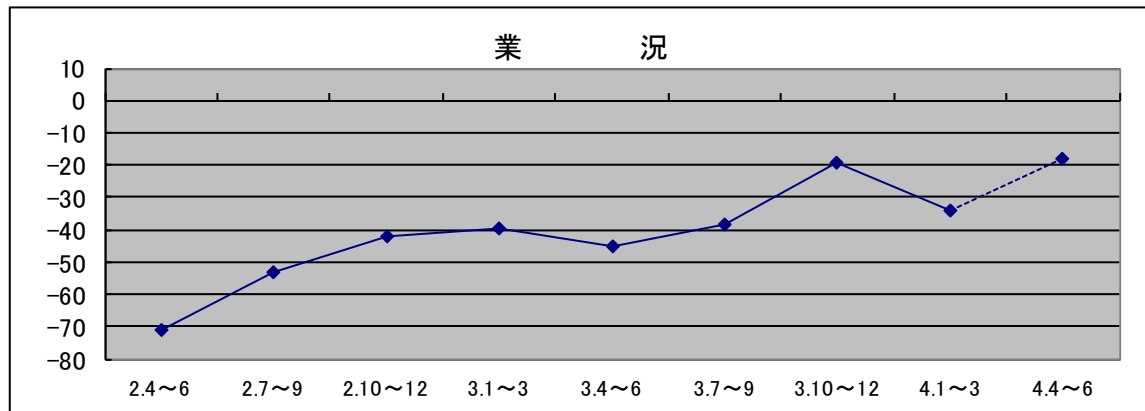
来期（R 4.4月～6月）業況D.I.については△27.3と若干の改善を予想する。ただ、良くなると予想するのは一部の衣料品や食料品販売などに限られ、コロナウイルスや、ロシアのウクライナ侵攻等の先行きによっては更に悪化することもあると考えられ、未だ出口が見えない状況が続く。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年			令和3年				令和4年	見通し
	4～6月	7～9月	1～3月	4～6月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業 況	△69.1	△51.1	△40.8	△36.7	△33.1	△42.2	△24.5	△29.4	△23.7
売 上	△63.9	△25.5	△30.4	△36.2	△30.9	△34.4	△14.7	△22.6	△8.5
収 益	△63.9	△23.4	△29.9	△34.0	△29.8	△34.4	△14.7	△26.0	△11.9
販売価格	△9.9	△0.5	△7.6	△2.1	△2.2	△2.8	7.6	11.9	14.7
在 庫	3.7	1.6	△4.3	0.5	0.0	△0.6	1.6	1.1	△1.7
資金繰り	△25.1	△12.0	△8.7	△11.2	△12.9	△12.8	△13.0	△11.9	△9.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	20.9%	仕入先を開拓・選別する	30.4%
利幅の縮小	14.5%	経費を節減する	23.2%
地価の高騰	14.3%	宣伝・広告を強化する	11.0%

サービス業



【概 況】

今期（R 4.1～3月）業況D.I.は△33.9（前期△19.1）と悪化を示した。感染対策を徹底して開催するイベントが増えてきたが、コロナウイルス第六波の感染拡大で発出された、まん延防止等重点措置の影響により県内外からの観光客数が減少したことが主な原因である。料金価格以外全ての項目が悪化しているが、料金価格についても物価が上昇しているため、この数値は改善したとはいえない。全体的に厳しい状況は続いている。

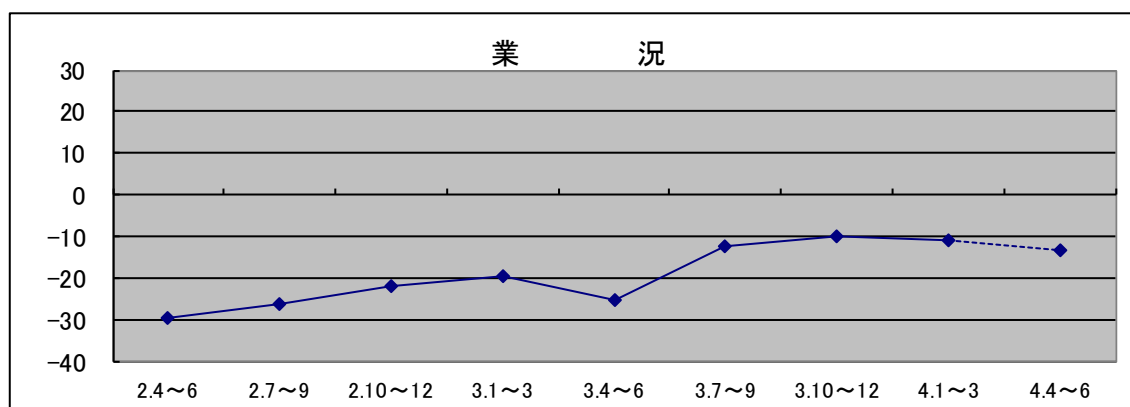
来期（R 4.4月～6月）業況D.I.は、まん延防止等重点措置が解除されたことで△17.9とやや改善を予想しているが、コロナウイルスの感染拡大とロシアのウクライナ侵攻などの影響が出てくる恐れがある。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年			令和3年				令和4年	見通し
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業 況	△71.2	△53.4	△42.1	△39.8	△45.1	△38.1	△19.1	△33.9	△17.9
売 上	△70.3	△35.3	△32.5	△31.9	△46.0	△32.7	△1.7	△26.8	△1.8
収 益	△68.5	△34.5	△31.6	△31.0	△41.6	△31.0	△2.6	△26.8	△8.0
料金価格	△6.3	△1.7	△7.9	△3.5	△3.5	△8.8	0.9	10.7	7.1
資金繰り	△39.6	△20.7	△17.5	△17.7	△14.2	△21.2	△10.4	△16.1	△9.8
設 備	△1.8	△1.7	△1.8	△5.3	△1.8	△3.5	△5.2	△8.9	△8.9

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	20.9%	提携先を見つける	31.7%
売上の停滞・減少	19.4%	経費を節減する	19.0%
同業者間の競争の激化	9.5%	販路を広げる	14.1%

建設業



【概 況】

前回において今期（R 4.1月～3月）の業況D.I.は悪化するとの予想であったが、公共工事と一般工事に動きがあったことで△11.2（前期△10.2）とほぼ横這いの結果。売上・収益は改善したが、他の項目については横這いか悪化となった。経営上の問題点は価格高騰の影響が大きく、「材料価格の上昇」が入った。

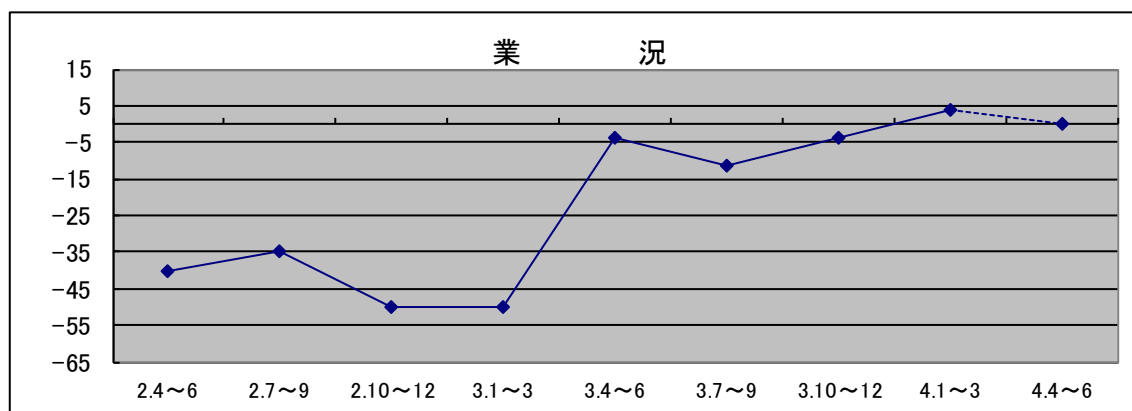
来期（R 4.4月～6月）の業況D.I.は△13.5と現状維持を予想。業況以外の項目についても概ね横這いを予想している。ウッドショックによる木材価格の高騰は年末に一旦落ち着いたが、1月には再び値段が急上昇し、今後も厳しい状況が続くとみている。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年			令和3年				令和4年	見通し
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業 況	△29.9	△26.5	△22.1	△19.8	△25.3	△12.5	△10.2	△11.2	△13.5
売 上	△46.0	△15.7	△16.3	△22.1	△19.5	△6.8	△12.5	△9.0	△10.1
収 益	△43.7	△10.8	△10.5	△12.8	△13.8	△6.8	△12.5	△11.2	△14.6
請負価格	△19.5	△3.6	△9.3	△7.0	△12.6	△5.7	△2.3	△5.6	△1.1
資金繰り	△24.1	△6.0	△10.5	△15.1	△10.3	△9.1	△8.0	△7.9	△4.5
人 手	△11.5	△7.2	△12.8	△14.0	△6.9	△8.0	△8.0	△12.4	△9.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
人件費以外の経費の増加	18.0%	技術力を高める	25.4%
売上の停滞・減少	13.6%	経費を節減する	21.3%
材料価格の上昇	13.2%	情報力を強化する	10.7%

不動産業



【概 況】

今期（R 4.1月～3月）の業況D.I.は3.7（前期△3.8）と改善を示し、8期ぶりにプラスに転じた。全ての項目が改善か横這いであり、今のところは順調に回復基調が続いている。

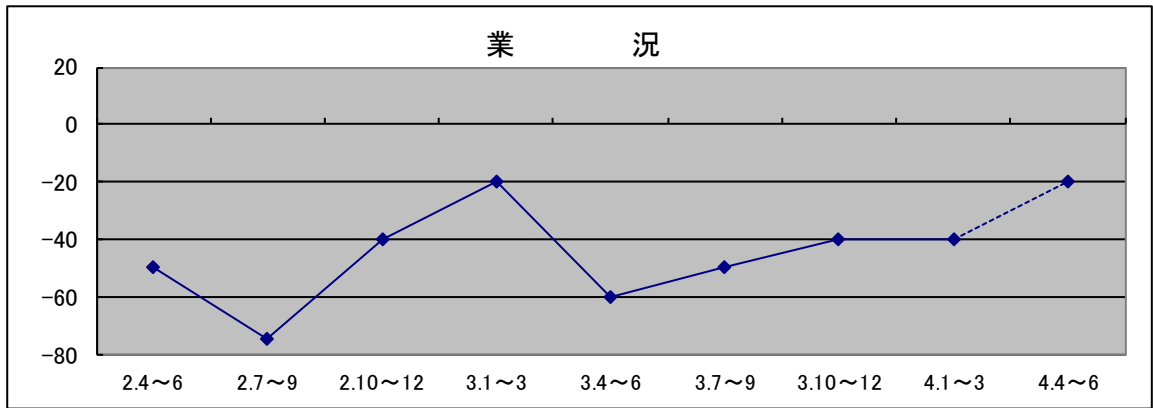
来期（R 4.4月～6月）は新年度の人の移動が終わることで、業況D.I.は0.0とやや悪化するも、前期の結果が反映されることで売上と収益は改善すると見ている。しかし戸建ての新築物件などに関しても、木材価格が再び高騰したことによる影響が懸念され、楽観視はできない。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年			令和3年				令和4年	見通し
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業 況	△40.0	△34.6	△50.0	△36.0	△4.0	△11.5	△3.8	3.7	0.0
売 上	△36.0	△34.6	△34.6	△36.0	△4.0	△19.2	△11.5	△7.4	3.7
収 益	△36.0	△34.6	△34.6	△36.0	△8.0	△7.7	△7.7	0.0	11.1
販売価格	△4.0	△19.2	△7.7	△16.0	△8.0	△3.8	0.0	7.4	11.1
在 庫	△8.0	△3.8	△3.8	△4.0	△16.0	△7.7	0.0	0.0	△7.4
資金繰り	△24.0	△7.7	△19.2	△16.0	△12.0	△7.7	△3.8	3.7	△3.7

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	43.3%	提携先を見つける	23.7%
大手企業との競争の激化	26.7%	経費を節減する	17.1%
利幅の縮小	23.3%	販路を広げる	15.8%

能登地区の縫製業



【概 況】

今期（R 4.1月～3月）の業況D.I.は△40.0と横這いで推移し、売上の増加・資金繰りの改善が見られ、それ以外の項目は全て横這いであった。全体的にやや改善した状況であるといえるが、業況は芳しくない。

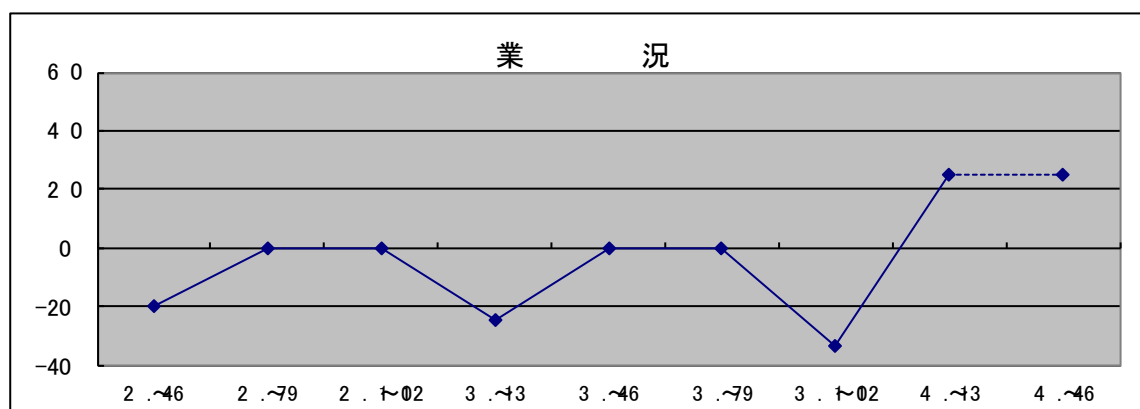
来期（R 4.4月～6月）は売上は悪化するが、他の項目については改善すると予想しており、比較的落ち着いた状況が続くのではないかとの見通し。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年			令和3年				令和4年	見通し
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業 況	△50.0	△75.0	△40.0	△20.0	△60.0	△50.0	△40.0	△40.0	△20.0
売 上	△75.0	△25.0	20.0	0.0	△60.0	0.0	△20.0	0.0	△20.0
収 益	△75.0	△25.0	0.0	△20.0	△60.0	0.0	△20.0	△20.0	△20.0
資金繰り	△25.0	△25.0	0.0	0.0	△20.0	0.0	△20.0	0.0	0.0
人 手	0.0	△25.0	0.0	△40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
設 備	△25.0	0.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	26.3%	経費を節減する	23.1%
輸入製品との競争の激化	26.3%	提携先を見つける	23.1%
人件費の増加	10.5%	販路を広げる	15.4%

能登地区の電子部品・半導体製造業



【概 況】

今期（R 4.1月～3月）業況D.I.については25.0と大幅に改善した。

世界的な半導体需要の高まりに対し、供給不足が続いており、半導体を使用した製品全体の製造が遅れている状況は変わっていない。サプライチェーン・流通ルートの見直しや確立には長期的な取り組みが必要である。

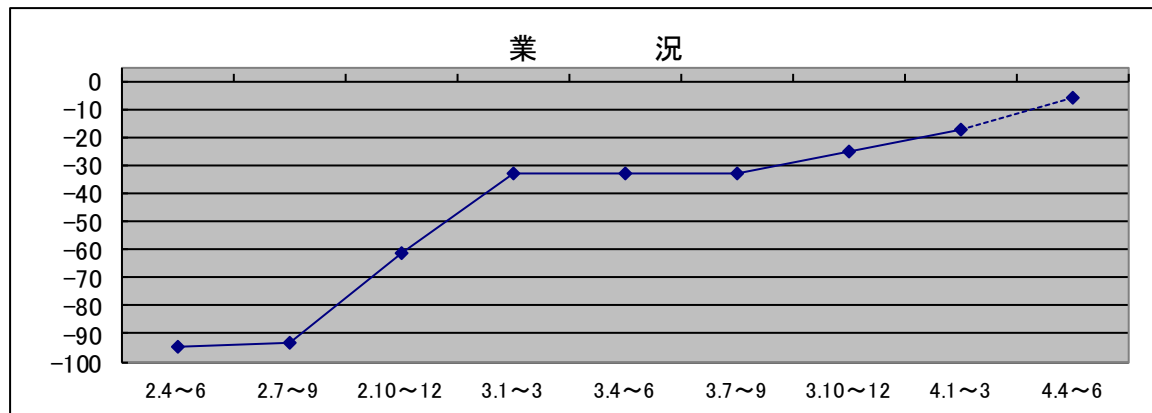
来期（R 4.4月～6月）は、収益以外については横這いを予測。半導体の供給は今年の夏から秋にかけて回復してくるとの意見や、今年も断続的に半導体不足が続くとの見方もあり、供給体制が整う時期は不明である。引き続き今後の動向について注視していく。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年			令和3年			令和4年	見通し
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	4～6月
業 況	△20.0	0.0	0.0	△25.0	0.0	0.0	△33.3	25.0
売 上	△20.0	0.0	40.0	△25.0	△50.0	0.0	0.0	0.0
収 益	△40.0	0.0	40.0	△25.0	50.0	0.0	△66.7	25.0
資金繰り	△40.0	△33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	△33.3	0.0
人 手	△20.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△25.0
設 備	0.0	△33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	25.0%	経費を節減する	30.0%
売り上げの停滞・減少	12.5%	提携先を見つける	30.0%
人手不足	12.5%	情報力を強化する	10.0%

能登地区の漆器業



【概 況】

今期（R 4.1月～3月）業況D.I.は、△17.6（前期△25.0）と改善した。しかし依然海外観光客の入国制限や新型コロナウイルス感染症による国内での制限が続く、厳しい業況が続いている。

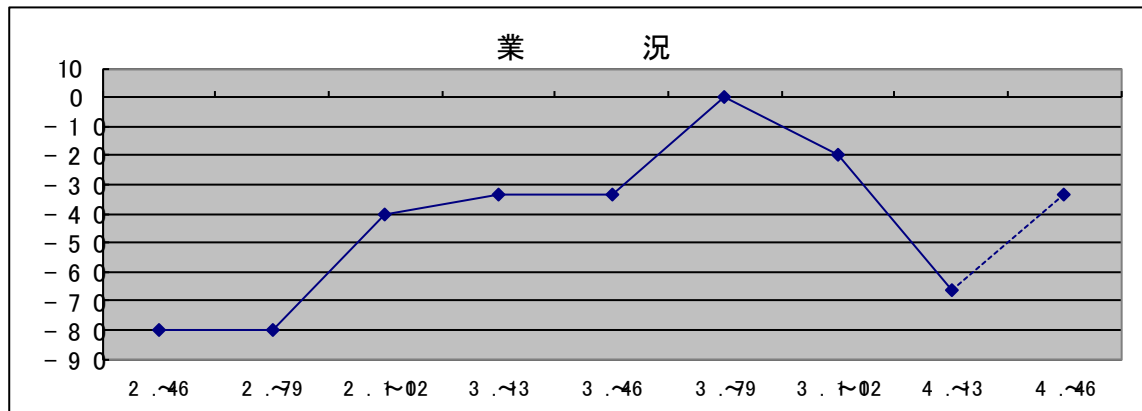
来期（R 4.4月～6月）は現在発生しているコロナ第六波が沈静化するか、また入国制限がどのような状況になるか分からないが、大型連休等で人の動きが見込まれることから業況・売上・収益が改善し、他全ての項目が横這いで推移すると予想している。しかし、漆器業全体では未だ低迷しているのが現状である。劇的な業況改善には入国制限が解除され、国内外観光客の流入が必要ではないだろうか。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年			令和3年				令和4年	見通し
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業 況	△94.4	△93.3	△61.1	△33.3	△33.3	△33.3	△25.0	△17.6	△5.9
売 上	△88.9	△46.7	△33.3	△33.3	△44.4	△33.3	△6.2	△17.6	0.0
収 益	△88.9	△53.3	△33.3	△33.3	△38.9	△27.8	△12.5	△17.6	0.0
資金繰り	△61.1	△20.0	△38.9	△22.2	△16.7	△27.8	△25.0	△5.9	△5.9
人 手	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	6.2	0.0	0.0
設 備	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
原材料高	21.4%	提携先を見つける	32.4%
売上の停滞・減少	20.0%	経費を節減する	24.3%
輸入製品との競争の激化	20.0%	販路を広げる	13.5%

能登地区の木材業



【概 況】

今期（R 4.1月～3月）業況D.I.は△66.7と前回の△20.0に比べ大幅に悪化した。業況・資金繰りは前期比較で悪化しており、年末に一旦下がった木材価格が年明けから再度高騰したことが大きく影響している。それにより、経営上の問題点では前回挙がった「取扱商品の陳腐化」が上位から消え、代わりに「利幅の縮小」が入った。

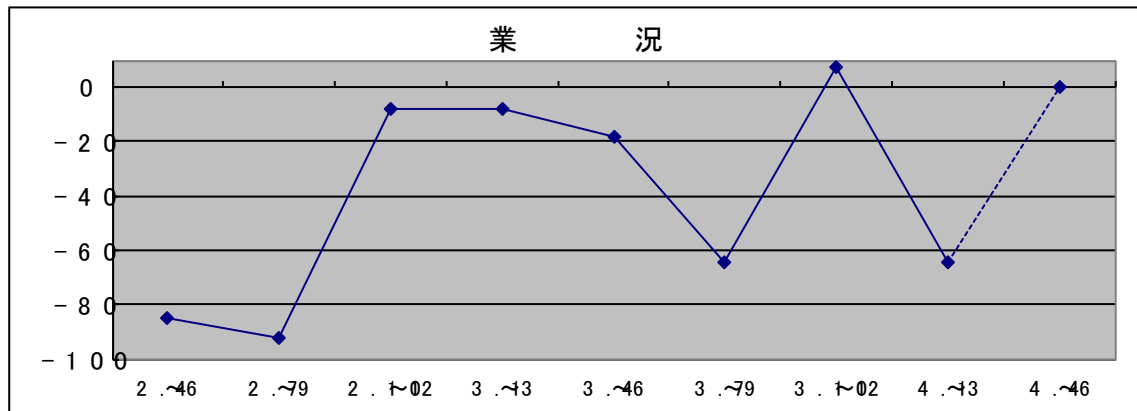
来期（R 4.4月～6月）は業況・売上・収益が改善し、他の項目については横這いを予想している。三カ月毎に見直される輸入材価格は未だ高価格帯を維持しており、価格が落ち着く時期は未定で今後も注視が必要である。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年			令和3年				令和4年	見通し
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業 況	△80.0	△80.0	△40.0	△33.3	△33.3	0.0	△20.0	△66.7	△33.3
売 上	△80.0	△80.0	△40.0	△50.0	△50.0	△40.0	△60.0	△66.7	△33.3
収 益	△80.0	△80.0	△40.0	△50.0	△50.0	△20.0	△60.0	△50.0	△16.7
資金繰り	△60.0	△20.0	△40.0	△33.3	△16.7	△20.0	△20.0	△33.3	△33.3
人 手	△20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
設 備	△50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	20.0%	提携先を見つける	35.7%
合理化の不足	15.0%	販路を広げる	21.4%
利幅の縮小	15.0%	経費を節減する	14.3%

能登地区の建具業



【概 況】

今期（R 4.1月～3月）の業況は、△64.3と大幅に悪化した結果になった。例年悪化をみせる時期ではあるが、前々回の状態に逆戻りした形になった。経営上の問題点として「売上の停滞・減少」、「原材料高」が同率一位に並び、「輸入製品との競争の激化」が三位となり、ウッドショックの影響が多少出てきているといえる。重点施策には「経費を節減する」が加わり、経営面での見直しが必要であると考えている企業は多い。

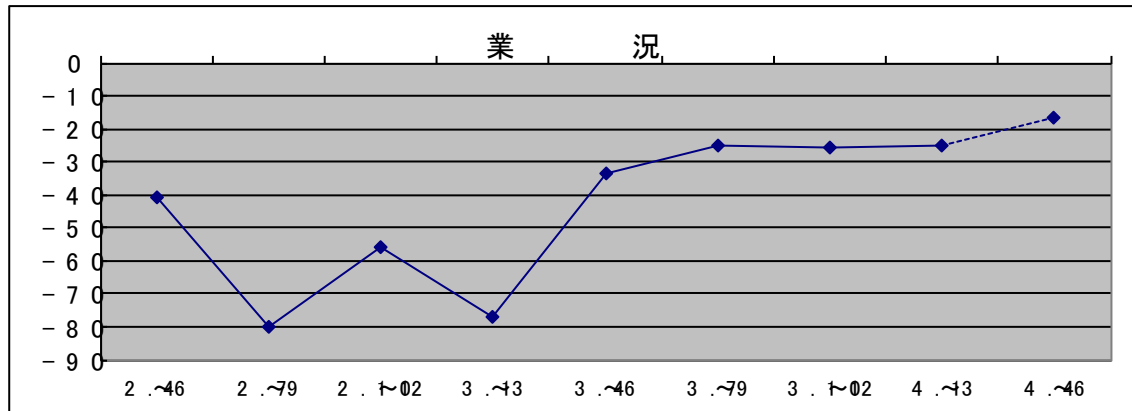
来期（R 4.4月～6月）は受注が一旦改善するとみて、業況・売上・収益が改善し、全体がプラスに転じるとの見通し。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年			令和3年				令和4年	見通し
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業 況	△84.6	△92.3	△7.7	△7.7	△18.2	△64.3	7.1	△64.3	0.0
売 上	△84.6	△7.7	0.0	0.0	△9.1	△50.0	7.1	△57.1	7.1
収 益	△84.6	△7.7	0.0	0.0	△27.3	△42.9	7.1	△64.3	0.0
資金繰り	△76.9	△7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	△7.1	0.0	0.0
人 手	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△14.3	0.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売り上げの停滞・減少	20.0%	提携先を見つける	43.9%
原材料高	20.0%	販路を広げる	31.7%
輸入製品との競争の激化	18.3%	経費を節減する	12.2%

能登地区の織布業



【概 況】

今期（R 4.1月～3月）業況D.I.は△25.0（前期△25.9）とやや改善を示した。今期は売上・収益・資金繰りが改善し、人手と設備はほぼ横這いとなったが、業況としては改善したと認識されていない様子が窺える。

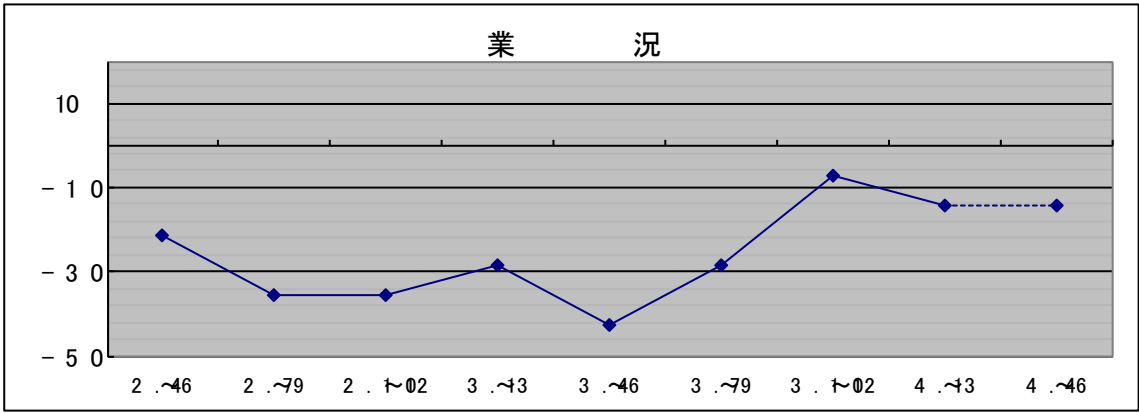
来期（R 4.4月～6月）は業況D.I.は改善し、売上も改善する見込み。特殊製品の需要が続いており、自動車のタイミングベルトやマスク、医療用ガウンなどは一定の需要があるが、織布業界全体として状況は芳しいとはいえない。業況改善に向けて打開策が必要である。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年			令和3年				令和4年	見通し
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業 況	△40.7	△80.0	△55.6	△76.9	△33.3	△25.0	△25.9	△25.0	△16.7
売 上	△48.1	△64.0	△29.6	△65.1	△29.6	△10.7	△29.6	△20.8	△8.3
収 益	△48.1	△60.0	△29.6	△69.2	△25.9	△3.6	△29.6	△8.3	△8.3
資金繰り	△22.2	△24.0	△14.8	△11.5	△14.8	0.0	△14.8	△8.3	△8.3
人 手	0.0	0.0	△7.4	7.7	△3.7	0.0	△3.7	△4.2	△8.3
設 備	△7.4	△4.0	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	21.1%	提携先を見つける	38.0%
輸入製品との競争の激化	18.3%	経費を節減する	22.5%
人件費の増加	9.9%	販路を広げる	16.9%

能登地区の繊維・雑品業



【概況】

今期（R 4.1月～3月）業況D.I.は△14.3と悪化した。売上と収益は大幅に悪化し、設備は横這いで、資金繰りと人手は改善した。

年末の季節需要の時期が過ぎ、全体的に悪化したと考えられる。

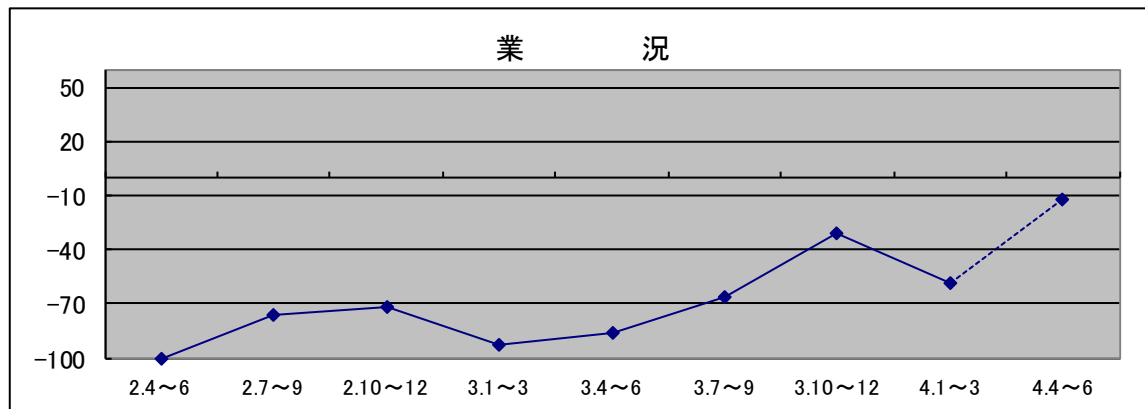
来期（R 4.4月～6月）の業況D.I.については△14.3と横這いを予想。徐々に改善していたが一旦落ち着き、人手は若干悪化、人手以外の項目については横這いで現状維持と予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年			令和3年				令和4年	見通し
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業況	△21.4	△35.7	△35.7	△28.6	△42.9	△28.6	△7.1	△14.3	△14.3
売上	△21.4	△21.4	△21.4	△21.4	△42.9	△28.6	14.3	△14.3	△14.3
収益	△21.4	△21.4	△21.4	△21.4	△42.9	△28.6	14.3	△14.3	△14.3
資金繰り	△7.1	△14.3	0.0	△14.3	0.0	0.0	△7.1	0.0	0.0
人手	7.1	0.0	0.0	△21.4	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上げの停滞・減少	40.0%	提携先を見つける	34.8%
輸入製品との競争の激化	25.0%	販路を広げる	34.8%
同業者間の競争の激化	15.0%	経費を節減する	4.3%

能登地区の観光業



【概 況】

今期（R 4.1 月～3 月）業況D.I.は、前期（R 3.1 0 月～1 2 月）の△3 1. 2 から△5 8. 8 と大幅に悪化した。

冬季で人の流れが減少する時期ではあるものの、コロナウイルスの第六波の流行で発出されたまん延防止等重点措置の影響によって更に冷え込み、料金価格と資金繰り以外の項目は全て悪化した。

来期（R 4.4 月～6 月）は春になり人の流れが戻ることから、業況D.I.は△1 1. 8 と改善を予想している。設備は横這いであるが、他全ての項目で改善の見通し。

《業績判断 D.I. の推移》

	令和2 年			令和3 年				令和4 年	見通し
	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月	4～6 月
業 況	△100.0	△76.5	△71.4	△92.9	△85.7	△66.7	△31.2	△58.8	△11.8
売 上	△100.0	△11.8	△57.1	△92.9	△78.6	△40.0	0.0	△41.2	29.4
収 益	△100.0	△11.8	△57.1	△92.9	△78.6	△40.0	△12.5	△47.1	5.9
料金価格	△13.3	5.9	△14.3	△14.3	0.0	6.7	0.0	11.8	17.6
資金繰り	△73.3	△29.4	△28.6	△50.0	△42.9	△33.3	△18.8	△17.6	△11.8
設 備	6.7	△5.9	△7.1	13.3	△7.1	△6.7	△12.5	△29.4	△29.4

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	24.1%	提携先を見つける	24.1%
利幅の縮小	24.1%	経費を節減する	21.7%
材料価格の上昇	9.3%	宣伝・広告を強化する	21.7%

主要経済指標

◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	
			うち所定外
2年 4月	1.46	143.8	8.2
2年 5月	1.32	124.7	5.8
2年 6月	1.19	140.0	6.2
2年 7月	1.15	142.0	7.2
2年 8月	1.10	132.0	7.3
2年 9月	1.09	139.5	7.7
2年 10月	1.12	142.8	7.8
2年 11月	1.18	142.4	8.4
2年 12月	1.23	141.9	8.7
3年 1月	1.22	127.9	7.4
3年 2月	1.26	132.8	8.1
3年 3月	1.27	138.8	8.6
3年 4月	1.35	143.7	8.3
3年 5月	1.36	129.2	7.5
3年 6月	1.38	141.4	8.0
3年 7月	1.35	141.5	8.5
3年 8月	1.36	131.7	7.9
3年 9月	1.40	137.0	8.4
3年 10月	1.40	141.3	8.7
3年 11月	1.38	142.5	8.9
3年 12月	1.38	142.2	9.2
4年 1月	1.46	132.1	8.3

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	総合	前年同月比
2年 4月	102.5	-0.4
2年 5月	102.7	-0.2
2年 6月	102.7	0.3
2年 7月	102.6	0.3
2年 8月	102.6	-0.2
2年 9月	102.2	-0.4
2年 10月	102.6	-0.7
2年 11月	102.2	-1.0
2年 12月	102.0	-1.1
3年 1月	102.6	-0.4
3年 2月	102.5	-0.1
3年 3月	102.8	0.1
3年 4月	102.4	-0.1
3年 5月	102.7	0.0
3年 6月	102.8	0.1
3年 7月	99.8	-0.2
3年 8月	99.9	0.1
3年 9月	100.2	0.7
3年 10月	100.2	0.3
3年 11月	100.1	0.6
3年 12月	100.1	0.6
4年 1月	100.2	0.1
4年 2月	100.8	0.9

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
2年 7月	3,047	60,623	17,670	197,906
2年 8月	1,697	31,987	19,261	234,113
2年 9月	995	16,859	20,150	254,510
2年 10月	818	11,511	20,735	266,133
2年 11月	735	10,759	21,137	273,184
2年 12月	913	11,887	21,709	282,686
3年 1月	420	4,714	22,087	287,516
3年 2月	638	10,395	22,292	290,467
3年 3月	1,724	33,452	22,781	300,923
3年 4月	820	15,623	23,341	313,128
3年 5月	245	2,328	23,410	314,911
3年 6月	270	1,983	23,401	314,354
3年 7月	246	1,910	23,385	313,433
3年 8月	264	2,077	23,386	312,444
3年 9月	294	2,281	23,390	312,173
3年 10月	271	2,637	23,423	312,011
3年 11月	257	1,849	23,441	311,752
3年 12月	259	2,395	23,443	311,106
4年 1月	187	1,816	23,457	310,460
4年 2月	243	2,172	23,473	310,003

資料: 石川県信用保証協会

◆ 企業倒産件数

(百万円)

	件数	金額
2年 6月	7	644
2年 7月	10	1,210
2年 8月	3	718
2年 9月	3	89
2年 10月	4	367
2年 11月	6	707
2年 12月	6	413
3年 1月	2	170
3年 2月	4	385
3年 3月	4	3,836
3年 4月	6	509
3年 5月	10	724
3年 6月	7	1,360
3年 7月	4	62
3年 8月	3	204
3年 9月	3	166
3年 10月	7	6,514
3年 11月	4	640
3年 12月	4	578
4年 1月	2	950
4年 2月	4	200

資料: (株)東京商工リサーチ

主要経済指標

◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
2年 3月	194	37,337	605	59
2年 4月	95	18,693	569	56
2年 5月	96	20,476	456	47
2年 6月	118	26,738	647	58
2年 7月	78	15,148	710	57
2年 8月	109	22,003	728	62
2年 9月	72	14,607	531	45
2年 10月	82	15,291	504	50
2年 11月	96	19,358	672	61
2年 12月	80	16,045	590	54
3年 1月	51	12,277	310	31
3年 2月	163	23,961	465	45
3年 3月	103	24,047	567	55
3年 4月	113	21,857	614	58
3年 5月	102	20,202	571	58
3年 6月	118	22,791	718	65
3年 7月	88	16,623	619	60
3年 8月	76	15,385	789	62
3年 9月	108	19,928	638	57
3年 10月	89	18,306	587	60
3年 11月	86	20,041	896	84
3年 12月	59	12,492	491	45
4年 1月	63	11,935	372	36

資料:国土交通省(石川県内)

◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
2年 3月	124	3,595
2年 4月	565	45,139
2年 5月	372	20,575
2年 6月	574	17,880
2年 7月	637	17,721
2年 8月	505	11,694
2年 9月	553	14,120
2年 10月	546	12,814
2年 11月	345	6,843
2年 12月	299	7,262
3年 1月	211	5,262
3年 2月	152	3,599
3年 3月	127	7,066
3年 4月	509	37,997
3年 5月	389	22,743
3年 6月	584	22,503
3年 7月	664	15,495
3年 8月	471	11,897
3年 9月	537	15,581
3年 10月	458	8,538
3年 11月	402	9,874
3年 12月	271	4,870
4年 1月	193	8,467
4年 2月	112	2,584

◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
2年 3月	4,963	2,601
2年 4月	1,657	941
2年 5月	1,611	713
2年 6月	2,244	1,465
2年 7月	2,649	1,690
2年 8月	1,918	1,383
2年 9月	3,048	1,881
2年 10月	2,661	1,581
2年 11月	2,514	1,640
2年 12月	2,339	1,383
3年 1月	2,250	1,326
3年 2月	2,705	1,740
3年 3月	5,105	3,008
3年 4月	2,245	1,506
3年 5月	2,142	1,287
3年 6月	2,472	1,509
3年 7月	2,837	1,439
3年 8月	2,296	1,193
3年 9月	2,105	1,175
3年 10月	2,035	1,107
3年 11月	2,544	1,448
3年 12月	2,280	1,204
4年 1月	2,206	1,265
4年 2月	2,487	1,526

資料:石川県自動車販売店協会

◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
2年 4月	5,366	1,300
2年 5月	267	2,400
2年 6月	12,897	5,300
2年 7月	46,678	9,800
2年 8月	55,528	13,700
2年 9月	40,084	11,200
2年 10月	52,385	14,300
2年 11月	64,437	16,500
2年 12月	49,849	10,000
3年 1月	10,858	3,600
3年 2月	10,622	4,000
3年 3月	32,937	6,600
3年 4月	23,814	8,300
3年 5月	17,150	7,300
3年 6月	11,290	4,800
3年 7月	35,443	10,700
3年 8月	43,264	10,400
3年 9月	21,952	7,100
3年 10月	40,773	11,400
3年 11月	59,850	15,400
3年 12月	56,440	10,500
4年 1月	33,904	5,900
4年 2月	14,279	3,800

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会
輪島市観光協会

◆ 織物生産高

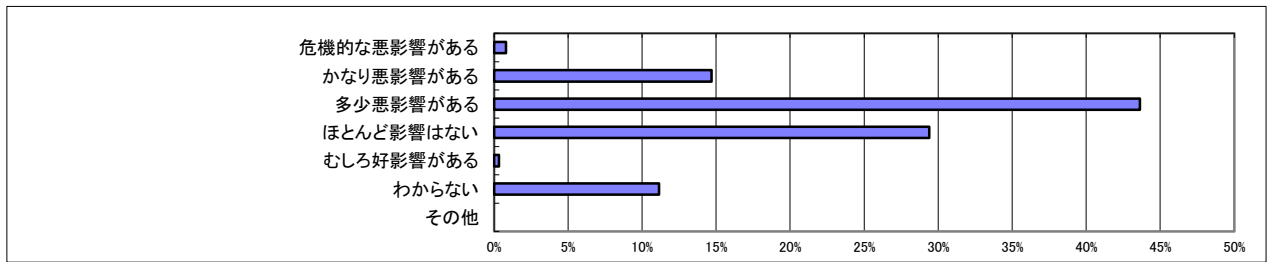
(千㎡)

	合計
2年 3月	20,459
2年 4月	19,164
2年 5月	16,954
2年 6月	18,402
2年 7月	17,382
2年 8月	12,208
2年 9月	13,612
2年 10月	15,859
2年 11月	15,282
2年 12月	14,852
3年 1月	15,143
3年 2月	16,191
3年 3月	16,905
3年 4月	17,276
3年 5月	16,199
3年 6月	19,475
3年 7月	19,071
3年 8月	16,987
3年 9月	20,266
3年 10月	21,090
3年 11月	20,272
3年 12月	17,924
4年 1月	17,746

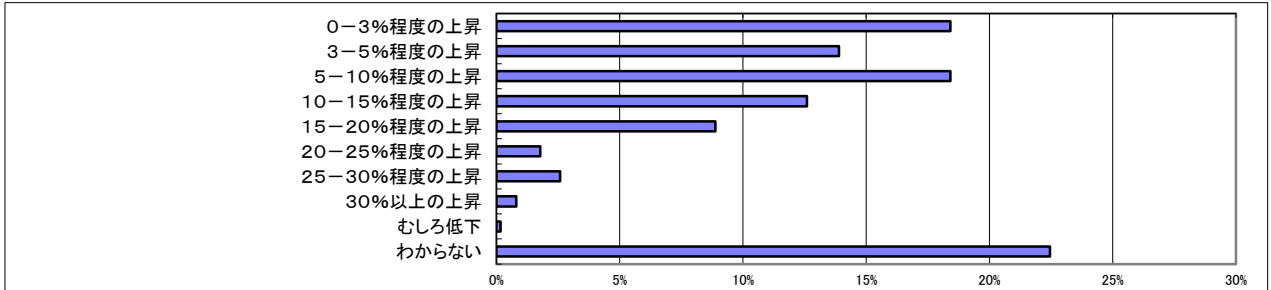
資料:石川県企画開発

【「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」】特別調査

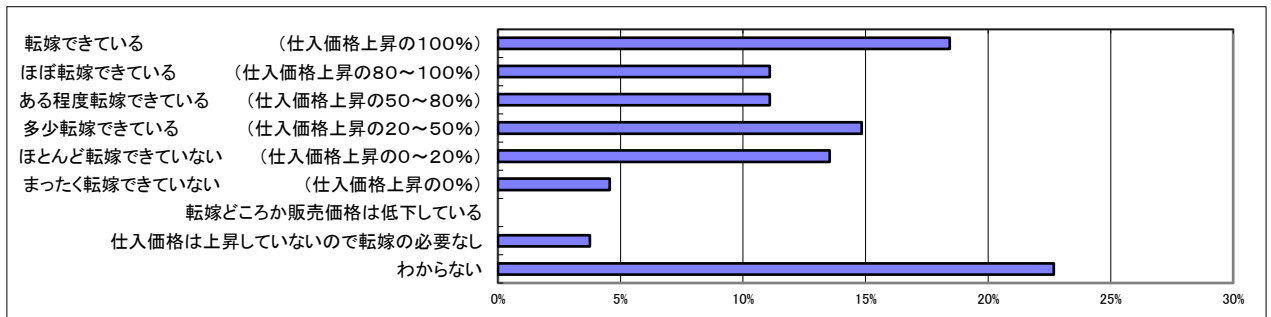
問1. 貴社では、最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。下記の1～7の中から1つ選んでお答えください。



問2. 貴社の原材料・仕入価格は、1年前と比較してどの程度変化しましたか。下記の1～9の中から1つ選んでお答え下さい。

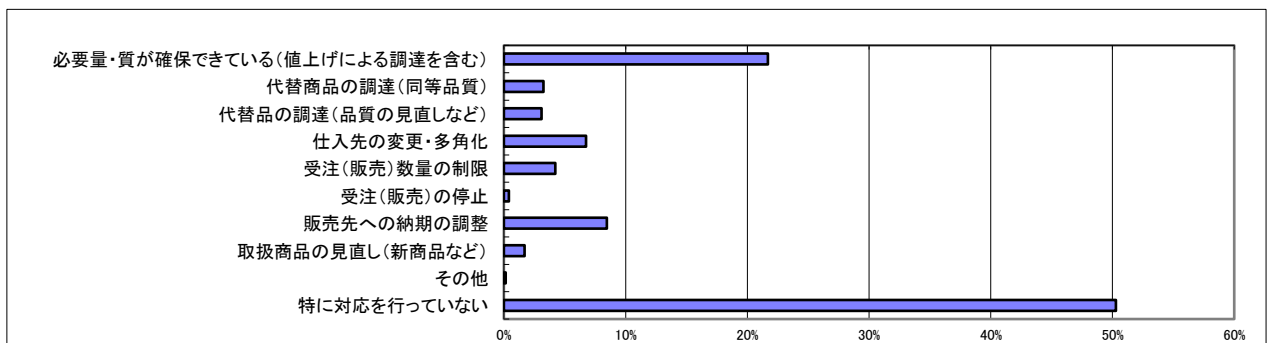


問3. 貴社では、原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますか。下記の1～9の中から1つ選んでお答え下さい。



原材料・仕入価格については、価格の上昇のほか、調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれています。

問4. 貴社では、各種資材や製商品の料や質は確保できていますか。確保できているという方は1を、問題を抱えている方は2～9の中から最大3つまで選んでお答え下さい。



問5. 仕入の困難化に伴い、仕入先を見直す動きも出ています。貴社では、仕入先の見直し等を検討するにあたって、重視する点がありますか。1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。

